日本共産党
名古屋市議団
市政ニュース
2011年6月7日
№33
http://www.n-jcp.jp
名古屋市中区三の丸三丁目１－１
電話052(972)2071　FAX052(972)4190
発行・日本共産党名古屋市会議員団

6月1日　都市消防委員会　わしの恵子議員

都市計画
マスタープラン

大型開発中心の名古屋大都市圏構想でなく
福祉・防災のまちづくりを

6月1日に都市消防委員会が行われ、「都市計画マスタープラン（案）」が議題となりました。2001年作成のマスタープランを改定するもので、今秋パブリックコメントを行い、冬には策定・公表される予定です。

地域づくりは住民の力をいかして

わしの恵子議員は、現行の都市計画マスタープランを「どう総括し、どう改善したのか」と、ただし、住民がまちづくりについて、主体的に考え、住民が発議できるようなまちづくりを求めました。

大震災の影響をどう組みいれたのか

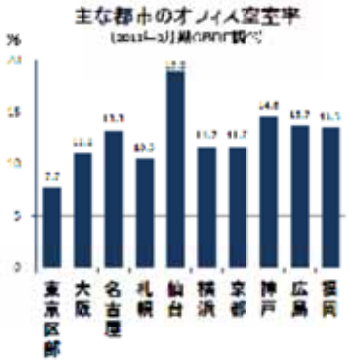
都市計画審議会の都市計画マスタープラン部会では昨年７回の検討を行い、都市計画審議会にも中間報告がされ、今年２月には市民討論会も開かれています。わしの議員は、「３月１１日の東日本大震災を受けて、この間の都市計画の議論を見直す必要はないのか」とただし、「地震に伴う建物倒壊や市街地大火の問題、避難地・避難路、耐震化については記述があるが、津波はない。東海、東南海、南海の３連動地震が起これば津波の想定もありうる。今後しっかり研究をすべき」と指摘しました。

防災・福祉のまちづくりを基本に

まちづくりの方針に、名古屋大都市圏を牽引する「交流・創造的活動の場づくり」と書いてあります。空港、港湾機能の強化などが言われ、名古屋駅からささしま地区の地下通路などの名古屋駅前の開発も入っています。わしの議員は「まちづくりの基本は、誰もが安心して住み続けられるまちづくりだ。既成市街地の再生は大切なことであり、若い人も高齢者も住むことができる、コミュニティのとれた、歩いて買い物にも行けるライフエリアのまちづくりが必要」と指摘しました。

名古屋駅前だけが名古屋ではない

名駅前地区には、名古屋ターミナルビル及び名古屋中央郵便局の建て替え、大名古屋ビルジングの建て替え等々が計画され、市内のオフィス供給過剰に拍車をかけています。さらにささしまライブ地区にも超高層ツインタワービルも計画され、ますます周辺の中小のオフィスビルは空室が増え、栄や伏見など他の地区の空室増加が懸念されています。

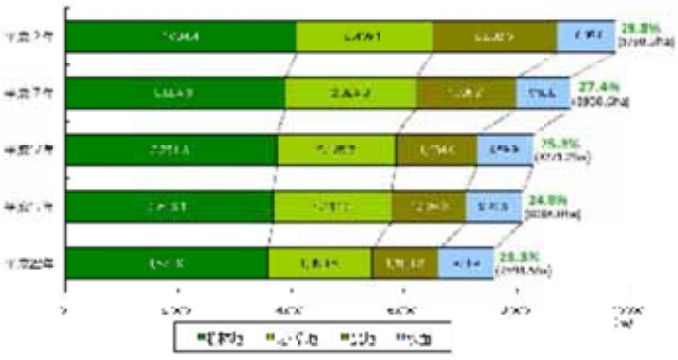


わしの議員は「名古屋駅前はさかえても、周辺はさびれることになるのではないか」と指摘。「だれもが安心して暮らせる福祉・防災の充実したまちづくりが必要。この観点でまちづくりを進めていただきたい」と求めました。

マスタープランの概要

前提：名古屋市だけでなく周辺市町村、名古屋大都市圏との交流も考慮し、目標は2020年まで
めざす姿：人・まち・自然がつながる交流・創造都市
めざす都市構造：集約連携が他の都市構造
都市のゾーニング：都心、市街域、港臨海域、環境軸、駅そばなど
これからの進め方：戦略的まちづくりの位置づけ・展開、地域まちづくりの推進など

環境軸をいうなら緑被率を高めよ

名古屋の現況では、緑被率（市域面積に対する緑被地面積の割合)が低下が示され、Ｈ２の29.8%からH22の23.3%と下がっています。わしの議員は「今後どのような対策を図るのか、マスタープランに盛り込め」とただしました。

緑被率（なごや緑の基本計画より）